

黙示録 20 章

「歴史最後の千年間」

20:1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手を持って、天から下って来るのを見た。 20:2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕らえ、これを千年の間縛って、 20:3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。 20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。 20:5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。 20:6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。 20:7 しかし千年の終わりに、サタンはその牢から解き放され、 20:8 地の四方にある諸国の民、すなわち、ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海べの砂のようである。 20:9 彼らは、地上の広い平地に上って来て、聖徒たちの陣営と愛された都とを取り囲んだ。すると、天から火が降って来て、彼らを焼き尽くした。 20:10 そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。 20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。 20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。 20:13 海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。 20:14 それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。 20:15 いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

導入

黙示録の学びも、佳境に入りました。

私がこれまでお話してきたようなかたちで黙示録全体のシリーズ説教を聞くことはあまりないでしょう。

それは、ヨハネが黙示録の冒頭でこの書を預言書であると言っているにもかかわらず、そう信じる人が非常に少ないからです。

50 年ほど前までは、ほとんどの説教者がイエスの再臨について前千年王国説を支持していました。残念ながら現在では、文字通りイエス・キリストが地上を支配すると信じる説教者は少数です。私の理解は、すべて聖書全体の教えに基づいたものです。

旧約聖書では、少なくとも 30 回にわたって、神の預言者たちが未来のある時期について予見したことを語りました。その時期とは、神が具体的な預言をもってユダヤ民族を大きく祝福される時です。

これらの預言をないもののように扱ってうまく釈明するのは至難の業です。

黙示録 20 章の学びに入る前に、これらの預言をいくつか見てみましょう。

1. イザヤ書 9 : 6-7.

9:6 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。 9:7 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の【主】の熱心がこれを成し遂げる。

この預言によると、「メシヤ」つまりイエス・キリストは、ダビデの王座に着き、裁きと正義によってこの王国を治めて確立します。
ダビデの王座は地上のものでした。地上における過去と未来のあるものでした。この預言はまだ成就されていません。

2. イザヤ書 11: 1-12.

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。 11:2 その上に、
【主】の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と
【主】を恐れる霊である。 11:3 この方は【主】を恐れることを喜び、その目の見るところ
によってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、 11:4 正義をもって寄るべ
のない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、口のむちで国を打ち、
くちびるの息で悪者を殺す。 11:5 正義はその腰の帯となり、真実はその胸の帯となる。
11:6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜が
共にいて、小さい子どもがこれを追っていく。 11:7 雌牛と熊とは共に草をはみ、その子ら
は共に伏し、獅子も牛のようにわらを食う。 11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離
れした子はまむしの子に手を伸べる。 11:9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは
害を加えず、そこなわない。【主】を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすか
らである。 11:10 その日、エッサイの根は、国々の民の旗として立ち、国々は彼を求め、
彼のいこう所は栄光に輝く。 11:11 その日、主は再び御手を伸ばし、ご自分の民の残りを
買い取られる。残っている者をアッシリヤ、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シヌ
アル、ハマテ、海の島々から買い取られる。 11:12 主は、国々のために旗を揚げ、イスラ
エルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。

4 節でイザヤがこの地上について語っているのは明らかです。ですから、イエスが地上を
治め、エルサレムの都が守られて人々から敬われる日がやってくるはずですよ。

11 節はとくに注目する箇所です。ここには、主が御手を再び伸ばし、ご自身の民の残りの
者を御元に集められるとあります。

狼と子羊がいっしょに暮らし、乳児がコブラの巣穴で遊ぶというようなことはまだ起こっ
ていません。地上の呪いはまだ解かれていません。

3. ゼカリヤ書 14: 1-9

14:1 見よ。【主】の日が来る。その日、あなたから分捕った物が、あなたの中で分けられ
る。 14:2 わたしは、すべての国々を集めて、エルサレムを攻めさせる。町は取られ、家々
は略奪され、婦女は犯される。町の半分は捕囚となって出て行く。しかし、残りの民は町
から断ち滅ぼされない。 14:3 【主】が出て来られる。決戦の日に戦うように、それらの
国々と戦われる。 14:4 その日、主の足は、エルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。
オリーブ山は、その真ん中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半
分は北へ移り、他の半分は南へ移る。 14:5 山々の谷がアツアルにまで達するので、あなた
がたは、わたしの山々の谷に逃げよう。ユダの王ウジヤの時、地震を避けて逃げたように、
あなたがたは逃げよう。私の神、【主】が来られる。すべての聖徒たちも主とともに来る。
14:6 その日には、光も、寒さも、霜もなくなる。 14:7 これはただ一つの日であって、これ
は【主】に知られている。昼も夜もない。夕暮れ時に、光がある。 14:8 その日には、エル
サレムから湧き水が流れ出て、その半分は東の海に、他の半分は西の海に流れ、夏にも冬
にも、それは流れる。 14:9 【主】は地のすべての王となられる。その日には、【主】はた
だひとり、御名もただ一つとなる。

オリーブ山はまだふたつに裂けていません。これは、イエスの再臨の際に裂けることにな
っています。この箇所には、まだまだ成就していない預言がたくさんあります。その預言

の内容は、現存する地上をイエス・キリストが治められることにしか関連付けられない内容です。

他の 27 個所の関連聖句をすべて読み上げる時間はありませんが、旧約聖書の預言について考えると、イスラエルの民に関するこれらの個所に記された出来事はまだ実現していないことがはっきりとわかります。

神はご自身のみことばに忠実であります。ですから、未来のいつかの時点で、ユダヤ人に関連した驚くような平安がこの地上にやってくることは確かです。

これらの預言者たちが述べた時期とは、イエス・キリストが地上を千年治める時だと私は信じています。

では、今日の聖書個所の学びに入り、神のみことばが今日私たちに教えてくださることを見出し、ていませう。

1. キリストが地上を治められる時代への備え (1-3 節)

20 章 1-3 節には、イエスによる千年の統治に前準備が必要だとあります。

新約聖書は、サタンをこの世の神と呼びます。

サタンは、人殺し、偽りの父、不従順の子らの中に働いている霊です。

(コリント第二 4 : 4、エペソ 2 : 2、ヨハネ 8 : 44)

この世に問題が尽きない一番の理由は、サタンが不従順の子らを使ってこの世を支配しているからです。

不従順の子らとは、この世の不信者のことです。

イエスが地上を治め始められる前に、まずサタンが千年間縛られなければなりません。(2 節)

3 節には、この千年間が終わるまで、サタンは誰も惑わすことはできないとあります。

この千年間は、サタンは誰にも影響を与えることができないのです。ハレルヤ！

これは、イエスが地上を千年間治められることを理解する上で、とても重要な要素です。

サタンが排除され、地上の呪いが解かれると、旧約聖書の預言のすべてが実現可能となります。

2. イエス・キリストとともに千年間治めるのは誰でしょう。(4-6 節)

まず、黙示録 5 : 8-10 を読みませう。

5:8 彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっばい入った金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。5:9 彼らは、新しい歌を歌って言った。「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、5:10 私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。」

10 節は、新しい歌を歌う聖徒による実在の地上の統治について述べています。

では、イエスとともに千年の間治める人々について見ていませう。

a) ダニエル 7 : 27

7:27 国と、主権と、天下の国々の権威とは、いと高き方の聖徒である民に与えられる。その御国は永遠の国。すべての主権は彼らに仕え、服従する。』

旧約時代の聖徒たちがイエスとともに地上を治めます。

b) マタイ 19 : 28

19:28 そこで、イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。世が改まって人の子がその栄光の座に着く時、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。

使徒たちがイエスとともに治めます。

「世が改まって」という言葉の意味は後ほど説明します。

c) コリント第一 6 : 1-2

6:1 あなたがたの中には、仲間の者と争いを起こしたとき、それを聖徒たちに訴えないで、あえて、正しくない人たちに訴え出るような人がいるのでしょうか。6:2 あなたがたは、聖徒が世界をさばくようになることを知らないのですか。世界があなただがたによってさばかれるはずなのに、あなたがたは、ごく小さな事件さえもさばく力がないのですか。

新約時代の信徒たちがイエス・キリストとともに治めます。

つまり、今日ここにいる私たちです。イエスを自らの救い主として受け入れ、愛している人たちのことです。

d) 黙示録 2:26

2:26 勝利を得る者、また最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与えよう。

これは、聖書が「勝利を得る者」と呼ぶ人たちです。

その人たちは、神のみことばに忠実でありつづける人たちです。

この人たちは、「諸国の民」を支配する権威を約束されています。

ですから、天ではなく地上における働きと考えられます。

e) 黙示録 20:4

20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。

大患難時代に殉教した人たちもイエスとともに千年間治めることはここで明らかにされています。

この個所は、イエス・キリストとともに千年間地上を治めることが文字通り現実に起こることであるともっとも明確に語る個所です。

イエス・キリストとともに地上を治める人たちすべてが「復活」します。

これは、非常に興味深い祝福の時代となるでしょう。

新約聖書には、イエス・キリストが地上を治める千年についてあまり多くの情報がありません。

しかし、旧約聖書の預言を調べれば、今の世の中と全く違った様子であることが明らかになります。

マタ 19:28 そこで、イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。世が改まって人の子がその栄光の座に着く時、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。

「世が改まって」と訳されたギリシャ語の単語は「パリングネシア」です
これはまさに、「再び創世記」という意味です。

これはイエスがおっしゃったことばですから、とくに興味深い言葉です。

ここから思い描けるのは、アダムとエバがサタンにだまされて神に逆らうことがなかったらこの世がどんな様子だったかを現在の世界で体験するチャンスを神が信徒に与えてくださる、といったものです。

アダムとエバが神に逆らうようサタンが仕向ける前の創世記のようにこの世のすべてが完璧かどうかはわかりませんが、サタンの影響が及ばない世の中であることは間違いありません。それは、みことばから明らかです。

3. イエス・キリストによる千年の統治の後はどうなるのでしょうか。

7節には、サタンが牢から解放されて、諸国の民を惑わすために出かけるとあります。

最後の戦いが起こります。そこで悪魔は敗北し、火の池に投げ込まれます。

そこでサタンは、永遠に罰を受けます。

その日が来ることを覚え、神をたたえます。

4. 大きな白い御座の裁き (11-15 節)

大きな白い御座の裁きの個所を詳しく見る前に、神の裁きについて簡単にお話したいと思います。

詩篇 96:13 確かに、主は来られる。確かに、地をさばくために来られる。主は、義をもって世界をさばき、その真実をもって国々の民をさばかれる。

使徒 17:31 なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの確証をすべての人にお与えになったのです。」

旧約聖書も新約聖書も、全世界が裁かれる日が定められていると教えます。

聖書は、その裁きがひとつではなく、いくつかあると教えます。

聖書に登場する裁きは、具体的に 3 種類あります。

1. 過去に起こった裁き。—これは、十字架での裁きです。

ヨハネ 5:24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。

2. 現在の裁き。—これは、すべての信徒の日常生活における裁きです。

コリント第一 11:31 しかし、もし私たちが自分をさばくなら、さばかれることはありません。 11:32 しかし、私たちがさばかれるのは、主によって懲らしめられるのであって、それは、私たちが、この世とともに罪に定められることのないためです。

3. 未来の裁き。

a) クリスチャンは、その行いに従って裁かれます。しかし、救いはすでにイエスの十字架によって確保されているので、影響は受けません。

コリント第一 3 : 8-16

3:8 植える者と水を注ぐ者は、一つですが、それぞれ自分自身の働きに従って自分自身の報酬を受けるのです。 3:9 私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。 3:10 与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。 3:11 というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。 3:12 もし、だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、 3:13 各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現れ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。 3:14 もしだれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。 3:15 もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。 3:16 あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

b) イスラエル、随天使、およびその時代に生きている人々が裁かれます。

c) ノンクリスチャンが裁かれます。

黙示録 20 : 11-15

20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。 20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。 20:13 海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。 20:14 それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。 20:15 いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

今日の聖書個所に含まれているのはノンクリスチャンの裁きです。

では、ノンクリスチャンを裁くのは誰でしょう。

ヨハネ 5:22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。

では、イエスはその人たちをどのように裁かれるのでしょうか。

イエスは、ひとりひとりの人が存命中に行った事柄や犯した罪をすべて詳細に記録した本を持っておられます。

イエスの生涯からわかることは、イエスは人の行いだけでなくその動機も裁かれます。人が不純な動機で良い行いをすることはあります。そんな隠れた動機を見とおされるのはイエスだけです。

聖書は、この「いのちの書」または「小羊のいのちの書」に名前がない人はすべて火の池に投げ込まれると明言します。

これは地獄のことです。苦しい罰を受ける場所です。

大きな白い御座の裁きでイエスによって地獄に投げ込まれてしまったら、そこから抜け出す方法はありません。

適用

1. 神はご自身の選ばれた民を祝福するご計画をお持ちです。そして、その祝福のご計画に私たちクリスチャンも加えてくださいます。クリスチャンはこの事実を励ましを受けましょう。

地上の千年王国に関する預言を注意深く学ぶと、それがユダヤ民族に対する祝福の時代であることに気づくはずで

現在のクリスチャンは、ユダヤ民族に対する約束が取って代わられ、教会にのみ当てはまると考えがちです。

教会はユダヤ人も異邦人も含みますが、神は選びの民に関するご自身のみことばを成就されます。

神は何らかの方法で選びの民に対してこれを実現なさいませ

ですから、異邦人である私たちは、神の選びの民に対する敬意を持ち、彼らを覚えて祈らなければなりません。神の選びの民がイエスを自らの救い主として受け入れるようにと祈りま

しょう。

ユダヤ人がマタイの福音書を読めば、それがユダヤ人の本だとわかるでしょう。

けれども、それを読んでもらうまでがたいへんです。ユダヤの文化とユダヤの預言を理解することが、新約聖書を理解する上で重要になります。偉大な使徒パウロも、いつかイスラエルの民が救われることを願っていました。

11:11 では、尋ねましょう。彼らがつまづいたのは倒れるためなのでしょう。絶対にそんなことはありません。かえって、彼らの違反によって、救いが異邦人に及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。 **11:12** もし彼らの違反が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょう。 **11:13** そこで、異邦人の方々に言いますが、私は異邦人の使徒ですから、自分の務めを重んじています。 **11:14** そして、それによって何とか私の同国人にねたみを引き起こさせて、その中の幾人でも救おうと願っているのです。 **11:15** もし彼らの捨てられることが世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。 **11:16** 初物が聖ければ、粉の全部が聖いのです。根が聖ければ、枝も聖いのです。 **11:17** もしも、枝の中のあるものが折られて、野生種のオリーブであるあなたがその枝に混じってつがれ、そしてオリーブの根の豊かな養分をともに受けているのだとしたら、 **11:18** あなたはその枝に対して誇ってはいけません。誇ったとしても、あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのです。 **11:19** 枝が折られたのは、私がつぎ合わされるためだ、とあなたは言うでしょう。 **11:20** そのとおりです。彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、かえって恐れなさい。 **11:21** もし神が台木の枝を惜しまれなかつたとすれば、あなたをも惜しまれなさい。 **11:22** 見てごらん。神のいつくしみときびしさを。倒れた者の上にあるのは、きびしさです。あなたの上にあるのは、神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り落とされるのです。 **11:23** 彼らであつても、もし不信仰を続けなければ、つぎ合わされるのです。神は、彼らを再びつぎ合わすことができるのです。 **11:24** もしあなたが、野生種であるオリーブの木から切り取られ、もとの性質に反して、栽培されたオリーブの木につがれたのであれば、これらの栽培種のもは、もっとたやすく自分の台木につがれるはずで

す。 **11:25** 兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思ふことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになつたのは異邦人の完成のなる時までであり、 **11:26** こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとお

2. ノンクリスチャンはいつの日か死から復活し、存命中の生き方をイエス・キリストによって裁かれます。

イエス・キリストによる大きな白い御座の裁きは、すべてのノンクリスチャンがイエスによって生き方を裁かれることの警告です。

その警告とは、「小羊のいのちの書」に名前が記されていないならば、地獄での永遠の罰が待ち受けているということです。

もしまだクリスチャンでないなら、今日ぜひ、イエス・キリストのもとに来てください。

あるがままの自分で、罪を悔い改める覚悟を持ち、今まで好き勝手に生きてきたこと、そしてその結果、罪によって創造主なる神から引き離されていることを、聖なる神の前に謙虚に認めましょう。

神はあなたのことを愛しておられます。そして、今日イエスのもとに来るようにと招いてくださっています。

イエスのもとに行きますか。それとも、自らの罪の裁きを受けようと思いませんか。

どうするかはあなた次第です。

信仰の一步を踏み出し、心から信仰と悔い改めの心でイエスのもとに行くなら、決して後悔しません。

今すぐ、イエスのもとに行きませんか。